



せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 齊藤 隆浩

第5号 2020年8月31日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号
 URL <http://www.spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)
 FAX 011-612-0980

夏休み明けの1週間のオンライン学習期間を経て、通常授業が再開しました。前期期末考査が近づいてきています。厳しい残暑が続いていますので、引き続き感染予防を意識しつつ、熱中症にも気をつけていきましょう。

Congratulations!!

第31回上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」
 入賞 高2-S 堀内 瑛美香 (2019年度)

中学生 対象 **オープンスクール** 要予約

9.12(土) 10.31(土)
 10:00~12:00 14:00~16:00
 無料送迎バス 9:40 無料送迎バス 13:40
 ※地下鉄円山公園駅バスターミナルより運行します。(お車での来校も可能です。)

WEB説明会も開催します!
 9月12日から学校説明会の動画を配信いたします。
 視聴の方法は、お申し込みをいただいた方に個別にご連絡いたします。

お申し込みはこちら ▶

札幌聖心女子学院 中学校・高等学校
〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10-1 TEL: 011-611-9231 FAX: 011-612-0980

お知らせにご紹介いただければ幸いです。

秋季休業期間の対応

今年度は寄宿舎を閉鎖せず、寄宿生は寄宿舎で健康観察をする期間とさせていただきます。9月23日(水)・24日(木)にも通常授業(午前授業)を実施することにいたしました。6月1日(月)にお知らせした改訂版の年間行事予定からさらに変更となり、ご不便をおかけいたしますが、学校や寄宿舎での集団感染予防の観点から、ご理解ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

9月の予定



	行事	お弁当
1(火)	放送朝礼 北海道シェイクアウト 母の会聖書サークル(10:30~、Sr.田口) 2019秋期・冬期 海外短期留学等報告会リハーサル②(放課後)	要
2(水)	梅干し弁当	梅弁
3(木)	中1 展示ワークショップ(6・7校時) 中2 茶道体験(6・7校時)	要
4(金)		要
5(土)	通常授業 高1-S SSC ニュース検定(12:30~) 考査前図書館解放(~16:00) 父の会聖書サークル(16:00~17:30)	※
6(日)		
7(月)	通常授業 前期期末考査時間割発表	要
8(火)	高2 Global Issues発表会(4校時)	要
9(水)		要
10(木)		要
11(金)		要
12(土)	通常授業 中学生対象オープンスクール①(10:00~12:00)	※
13(日)		
14(月)	前期期末考査①	※
15(火)	前期期末考査② 母の会聖書サークル(10:30~、Sr.井出)	※
16(水)	前期期末考査③	※
17(木)	前期期末考査④	※
18(金)	考査返却①	要
19(土)	考査返却②	※
20(日)		
21(月)	敬老の日	
22(火)	秋分の日	
23(水)	午前授業	不要
24(木)	午前授業	不要
25(金)	個人票手渡し 通常授業	要
26(土)	2019秋期・冬期 海外短期留学等報告会(1校時) 特別プログラム(2・3校時)	※
27(日)		
28(月)	通常授業	要
29(火)	放送朝礼	要
30(水)	全校講話「いのちの授業」(中高別、5・6校時)	要

※ 必要な方は昼食をご用意ください。

シアトル フォレストリッジ聖心 夏季英語イマージョンプログラム

8月3日(月)から15日(土)までの12日間、シアトルの姉妹校 Forest Ridge School of the Sacred Heart 主催のサマープログラムが行われ、日本の三つの姉妹校からの17名が参加し学びました。参加した日本の聖心姉妹校3校の生徒の熱心な取り組みと、フォレストリッジ聖心の7名の先生方やテクノロジーチームの方々の献身的なご協力のおかげで、一人ひとりが大きな成長を実感できる実り豊かなプログラムとなりました。

札幌聖心では中2・中3・高1の5名の生徒が参加しました。最初にクラス分けのためのテストを受けました。ライティングのプログラムでは、自分が行ってみたい国の旅行パンフレット作る課題を通して、アメリカと日本の文化や地理について学び、ディスカッションしました。また、コミュニケーションスキルズのプログラムでは、自分の好きなものについて、三つカテゴリを選んでプレゼンテーションをしたり、水や環境をテーマとしてスピーキング練習をしたり、伺った専門家のお話をもとにディスカッションしたりしました。



プログラム終了後に高1の生徒が作成した報告が、本校ホームページからご覧になれます。

今月の聖句

主は言われる。
見よ、わたしは新しい事をなす。
やがてそれは起こる。 イザヤ書 43章 19節

原爆が投下されてから75年が経ったこの夏、昨年からは生徒たちが姉妹校生と「リボン」と呼ばれる核廃絶を訴える横断幕を準備していた平和祈念行事も、新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。これは広島で核兵器の悲劇に衝撃を受けた一人のアメリカ人女性の熱い願いと祈りによって40年近く前に始められた国連NGOの主催です。委員会が新しい形を模索して、国と国をつないで行われたオンライン行事に、本校生徒も出演しました。日本時間深夜にそれに参加しながら、強く感じたのは、国を超えた一人ひとりの平和への熱意と祈りでした。そして、この聖句を想いました。

コロナ禍は洪水のように、今まで当然とされていたすべてを押し流していきます。従来のシステムに守られ当たり前としていたものが崩れ去っていく中で、私たちの地図は失われ、どこに向かって進むのか。このコロナ禍から立ち上がる生徒たちの未来をどのように創るのか。それらが問われているということを実感する日々です。

しかし、地図も持たずにさまよう私たちの歩みを導くのは、心に受け、刻まれた思い、内からあふれる熱意と祈り、そしてこの聖句の力強い約束です。ここに希望があります。 [担当：Sr.田口保子]